

基本計画書

基本計画									
事項		記入欄						備考	
計画の区分		大学の収容定員に係る学則変更							
フリガナ設置者		カッコリホジシ ヨウメイダク 学校法人 秀明学園							
フリガナ大学の名称		ヨウメイダイガク 秀明大学							
大学本部の位置		千葉県八千代市大学町一丁目1番							
大学の目的		<p>本学は、教育基本法並びに学校教育法に基づくとともに、本学の建学の精神である「常に真理を追究し、友情を培い、広く社会に貢献する人間形成を目的とする」を踏まえ、学術の中心として、広く知識を授けるとともに、深く専門の学術を教授研究し、知的、道徳的及び応用的能力を展開させ新しい時代に即応して国際的な広い視野と深い識見を有し、強い実行力を具えた人材を育成することを目的とする。</p>							
新設学部等の目的		<p>1. 学校教師学部（中等教育教員養成課程）の定員変更 教職に対する強い情熱と意欲を持つ志願者を選抜し、全寮制による夜間学修や人間形成の他、1年次からの学校現場研修等による実践的な教員養成を行い、多くの人材を輩出してきたが、昨今の18歳人口の減少や教職を志願する者の減少に伴い、定員の適正化を意図し、入学定員を200名から150名に変更する。</p> <p>2. 総合経営学部（企業経営学科）の定員変更 簿記をベースに経営学を学修し、企業経営の専門知識ならびに実務能力を身につけたビジネスパーソンを輩出してきたが、昨今の18歳人口の減少に伴い、定員の適正化を意図し、入学定員を90名から80名に変更する。</p> <p>3. グローバルマネジメント学部（グローバルマネジメント学科）の定員変更 英語と情報をベースに経営学を学修し、現代の国際社会、情報社会で活躍できるビジネスパーソンを輩出してきたが、昨今の18歳人口の減少に対応するため、入学定員を70名から60名に変更する。</p> <p>4. 観光ビジネス学部（観光ビジネス学科）の定員変更 観光に関する学修をベースに経営学を学修し、観光産業で活躍するビジネスパーソンを輩出してきたが、昨今の18歳人口の減少に伴い、定員の適正化を意図し、入学定員を70名から50名に変更する。</p> <p>5. 看護学部（看護学科）の定員変更 地域社会の保健・医療・福祉に貢献できる看護師や保健師を養成し輩出してきたが、昨今の18歳人口の減少に伴い、定員の適正化を意図し、入学定員を80名から70名に変更する。</p>							
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位	学位の分野	開設時期及び開設年次	所在地
	学校教師学部 中等教育教員養成課程	4年	150人 (200)	0人	600人 (800)	学士 (教育学)	教育学・保育学関係	令和8年4月 第1年次	千葉県八千代市 大学町一丁目1番
	総合経営学部 企業経営学科	4	80 (90)	0	320 (360)	学士 (経営学)	経済学関係	令和8年4月 第1年次	同上
	グローバルマネジメント学部 グローバルマネジメント学科	4	60 (70)	0	240 (280)	学士 (経営学)	経済学関係	令和8年4月 第1年次	同上
	観光ビジネス学部 観光ビジネス学科	4	50 (70)	0	200 (280)	学士 (経営学)	経済学関係	令和8年4月 第1年次	同上
	看護学部 看護学科	4	70 (80)	0	280 (320)	学士 (看護学)	保健衛生学関係 (看護学関係)	令和8年4月 第1年次	同上
計			410 (510)	0	1640 (2040)				
同一設置者内における変更状況（定員の移行、名称の変更等）		該当なし							
教育課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数				卒業要件単位数			
		講義	演習	実験・実習	計				
	科目	科目	科目	科目	単位				

学部等の名称		基幹教員					助手	基幹教員以外の教員 (助手を除く)	
		教授	准教授	講師	助教	計			
新	学校教師学部 中等教育教員養成課程	34人 (34)	12人 (12)	14人 (14)	1人 (1)	61人 (61)	0人 (0)	30人 (30)	大学設置基準別表第一に定める基幹教員数の三分の三の数 10人
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	34人 (34)	12人 (12)	14人 (14)	1人 (1)	61人 (61)			
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	小計（a～b）	34人 (34)	12人 (12)	14人 (14)	1人 (1)	61人 (61)			
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	計（a～d）	34人 (34)	12人 (12)	14人 (14)	1人 (1)	61人 (61)			
	総合経営学部 企業経営学科	10人 (10)	3人 (3)	2人 (2)	2人 (2)	17人 (17)	0人 (0)	20人 (20)	
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	10人 (10)	3人 (3)	2人 (2)	2人 (2)	17人 (17)			
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
設	小計（a～b）	10人 (10)	3人 (3)	2人 (2)	2人 (2)	17人 (17)			
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	計（a～d）	10人 (10)	3人 (3)	2人 (2)	2人 (2)	17人 (17)			
	グローバルマネジメント学部 グローバルマネジメント学科	8人 (8)	3人 (3)	3人 (3)	0人 (0)	14人 (14)	1人 (1)	12人 (12)	
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	8人 (8)	3人 (3)	3人 (3)	0人 (0)	14人 (14)			
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	小計（a～b）	8人 (8)	3人 (3)	3人 (3)	0人 (0)	14人 (14)			
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
計（a～d）	8人 (8)	3人 (3)	3人 (3)	0人 (0)	14人 (14)				
設	観光ビジネス学部 観光ビジネス学科	8人 (8)	4人 (4)	2人 (2)	0人 (0)	14人 (14)	0人 (0)	8人 (8)	
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	8人 (8)	4人 (4)	2人 (2)	0人 (0)	14人 (14)			
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	小計（a～b）	8人 (8)	4人 (4)	2人 (2)	0人 (0)	14人 (14)			
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	計（a～d）	8人 (8)	4人 (4)	2人 (2)	0人 (0)	14人 (14)			
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	8人 (8)	4人 (4)	2人 (2)	0人 (0)	14人 (14)			
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	小計（a～b）	8人 (8)	4人 (4)	2人 (2)	0人 (0)	14人 (14)			
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
計（a～d）	8人 (8)	4人 (4)	2人 (2)	0人 (0)	14人 (14)				

分	看護学部 看護学科	13人 (13)	9人 (9)	6人 (6)	5人 (5)	33人 (33)	2人 (2)	12人 (12)	大学設置基準別表第一に定める基幹教員数の四分の三の数 9人
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	13人 (13)	9人 (9)	6人 (6)	5人 (5)	33人 (33)			
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	小計（a～b）	13人 (13)	9人 (9)	6人 (6)	5人 (5)	33人 (33)			
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	計（a～d）	13人 (13)	9人 (9)	6人 (6)	5人 (5)	33人 (33)			
	計	73人 (73)	31人 (31)	27人 (27)	8人 (8)	139人 (139)	3人 (3)	82人 (82)	
既設	該当なし	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)	大学設置基準別表第一に定める基幹教員数の四分の三の数 〇〇人
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)			
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)			
	小計（a～b）	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)			
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)			
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)			
	計（a～d）	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)			
	計	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)	
合 計		73人 (73)	31人 (31)	27人 (27)	8人 (8)	139人 (139)	2人 (2)	83人 (83)	

職 種				専 属		その他		計						
事 務 職 員				24人 (24)		18人 (18)		42人 (42)						
技 術 職 員				0 (0)		2人 (2)		2人 (2)						
図 書 館 職 員				3人 (3)		2人 (2)		5人 (5)						
そ の 他 の 職 員				1 (1)		39 (39)		40人 (40)						
指 導 補 助 者				0 (0)		2人 (2)		2人 (2)						
計				28人 (28)		63 (63)		91 (91)						
校 地 等	区 分		専 用		共 用		共用する他の 学校等の専用		計					
	校 舎 敷 地		143,488.00㎡		0㎡		0㎡		143,488.00㎡					
	そ の 他		9,640.99㎡		0㎡		0㎡		9,640.99㎡					
	合 計		153,128.99㎡		0㎡		0㎡		153,128.99㎡					
校 舎			専 用		共 用		共用する他の 学校等の専用		計					
			30,384.78㎡ (30,384.78㎡)		㎡ (㎡)		㎡ (㎡)		30,384.78㎡ (30,384.78㎡)					
教 室 ・ 教 員 研 究 室			教 室		室		教 員 研 究 室		室					
図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称		図書 〔うち外国書〕		電子図書 〔うち外国書〕		学術雑誌 〔うち外国書〕		電子ジャーナル 〔うち外国書〕		機械・器具 点		標本 点	
			冊		〔うち外国書〕		種		〔うち外国書〕					
			()		()		()		()		()		()	
	計		()		()		()		()		()		()	
スポーツ施設等			スポーツ施設				講堂				厚生補導施設			
			㎡				㎡				㎡			
経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	図書購入費には、 電子ジャーナル・ データベースの整備 費（運用コスト 含む）を含む				
		教員1人当り研究費等		130千円	130千円	130千円	130千円	—	—					
		共同研究費等		0円	0円	0円	0円	—	—					
		図 書 購 入 費	13,223千円	13,223千円	13,223千円	13,223千円	13,223千円	—	—					
		設 備 購 入 費	100,000千円	100,000千円	100,000千円	100,000千円	100,000千円	—	—					
	学生1人当り 納付金		第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	学校教師学部 総合経営学部 グローバル マネジメント学部 観光ビジネス学部 看護学部					
		1,318千円	1,018千円	1,018千円	1,018千円	—	—							
		1,308千円	1,008千円	1,008千円	1,008千円	—	—							
		1,308千円	1,008千円	1,008千円	1,008千円	—	—							
		1,308千円	1,008千円	1,008千円	1,008千円	—	—							
		1,750千円	1,450千円	1,450千円	1,450千円	—	—							
	学生納付金以外の維持方法の概要			私立大学等経常費補助金、資産運用収入、雑収入等										
大 学 等 の 名 称													秀明大学	
学 部 等 の 名 称		修業 年限	入学 定員	編入学 定 員	収容 定員	学位又は 称号	収 容 定 員 充 足 率	開設 年度	所 在 地					
既 設 大 学 等 の 状 況	学校教師学部 中等教育教員養成課程	4年	200人	0年次人	800人	学士（教育学）	0.63倍	平成20年度	千葉県八千代市 大学町一丁目1番					
	総合経営学部 企業経営学科	4	90	0	360	学士（経営学）	0.96	平成13年度	同上					
	グローバルマネジメント学部 グローバルマネジメント学科	4	70	0	280	学士（経営学）	0.85	平成18年度	同上					
	観光ビジネス学部 観光ビジネス学科	4	70	0	280	学士（経営学）	0.54	平成21年度	同上					
	看護学部 看護学科	4	80	0	320	学士（看護学）	0.65	平成29年度	同上					
	附属施設の概要		該当なし											

学校法人秀明学園秀明大学 設置認可等に関わる組織の移行表

令和7年度	入学 定員	編入学定 員	収容 定員	令和8年度	入学 定員	編入学定 員	収容 定員	変更の事由
秀明大学				秀明大学				
学校教師学部 中等教育教員養成課程	200	-	800	学校教師学部 中等教育教員養成課程	<u>150</u>	-	<u>600</u>	定員変更（△50）
総合経営学部 企業経営学科	90	-	360	総合経営学部 企業経営学科	<u>80</u>	-	<u>320</u>	定員変更（△10）
グローバルマネジメント学部 グローバルマネジメント学科	70	-	280	グローバルマネジメント学部 グローバルマネジメント学科	<u>60</u>	-	<u>240</u>	定員変更（△10）
観光ビジネス学部 観光ビジネス学科	70	-	280	観光ビジネス学部 観光ビジネス学科	<u>50</u>	-	<u>200</u>	定員変更（△20）
看護学部 看護学科	80	-	320	看護学部 看護学科	<u>70</u>	-	<u>280</u>	定員変更（△10）
	510	-	2,040		410	-	1,640	

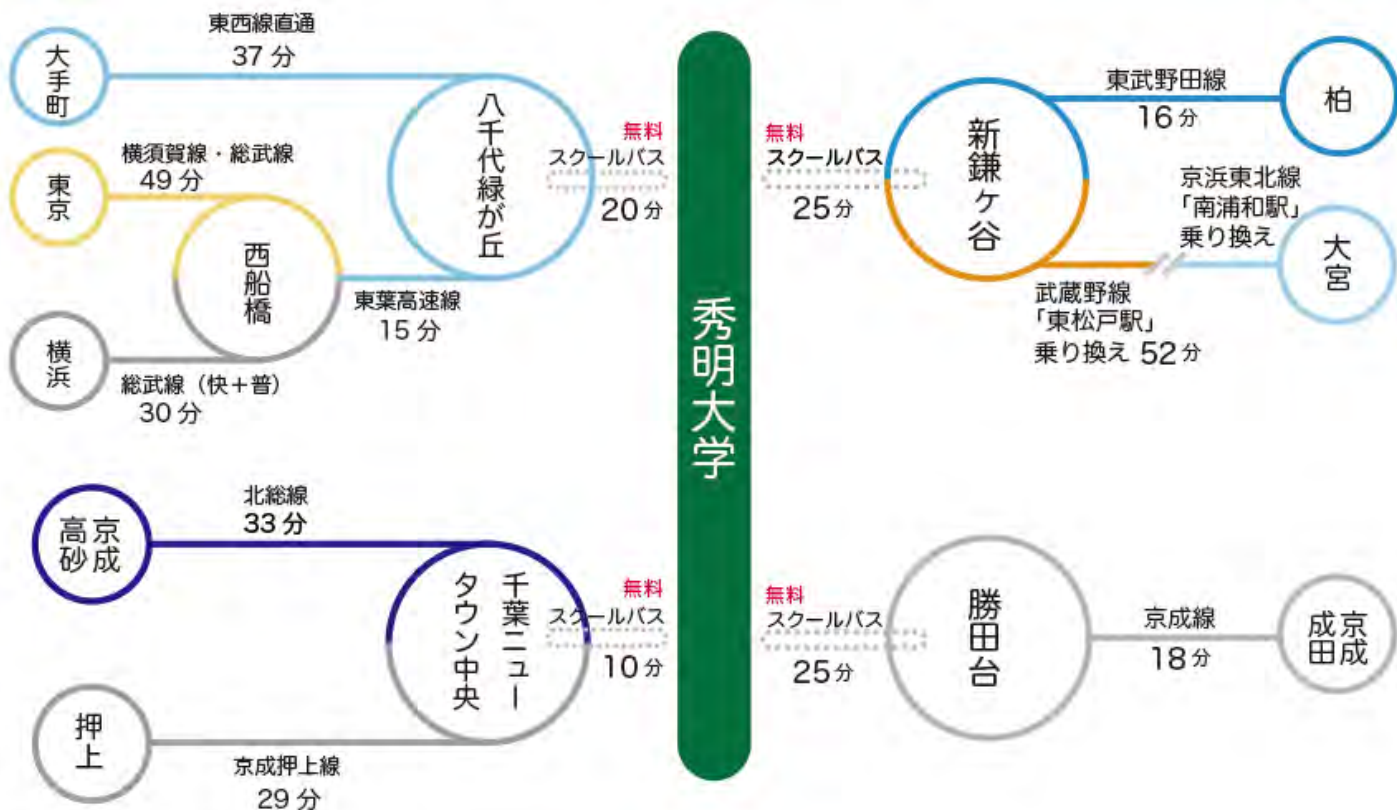
校地校舎等の図面

(1) 都道府県内における位置関係の図面

本学の位置：千葉県八千代市大学町一丁目 1 番



(2) 最寄り駅からの距離、交通機関及び所要時間がわかる図面



- ◆新鎌ヶ谷駅から秀明大学：約11km
- ◆千葉ニュータウン中央駅から秀明大学：約5.5km
- ◆八千代緑が丘駅から秀明大学：約6km
- ◆勝田台駅から秀明大学：約8.5km



国土地理院電子国土WEBに大学名・駅名を追記して掲載

(3) 校舎、運動場等の配置図(完成年度のもの)



敷地面積： 153,128.88㎡（所有 120,957.26㎡、 借地 32,171.73㎡）

校地面積： 143,488.00㎡

校地面積＝敷地面積（153,128.99㎡）から次の不算入地面積（9,640.99㎡）を減じた面積

第2学生寮敷地面積	1,097.53㎡
第3学生寮敷地面積	1588.07㎡
第4学生寮敷地面積	853.48㎡
第5学生寮敷地面積	885.18㎡
駐車場面積	3635.27㎡
秀明ホール部分面積	1581.46㎡

建物面積： 61,433.22㎡

No.	建物	面積 (㎡)
1	本館	2713.15
2	1 号館	2145.55
3	2 号館	888.54
4	管理機械棟	231
5	食堂棟	1486.26
6	守衛棟	39.08
7	図書館	1789.8
8	茶道実習棟	258.46
9	秀明ホール棟	2525.77
10	IT教育センター	1782.86
11	学校教師学部A棟	4817.32
12	学校教師学部B棟	6103.38
13	倉庫	115.23
14	看護学部棟	9075.21
15	厚生棟 (Uスペース)	192
16	体育館	1579.65
17	スポーツ管理棟	343.17
18	ウォーターポロアリーナ	2590.89
19	第 2 学生寮	4948.9
20	第 3 学生寮	10412.93
21	第 4 学生寮	3718.51
22	第 5 学生寮	3675.56

校舎面積： 30,384.78㎡

校舎面積 = 建物総面積 (61,433.22㎡) から次の不算入部分面積 (31,048.44㎡) を減じた面積

校舎不算入部分	面積 (㎡)
1 号館1階購買部、学生ラウンジ	236.7
秀明ホール棟講堂部分	2033.47
学校教師学部B棟地下 1 階柔道場	996.18
看護学部棟 1 階カフェテリア	320.48
厚生棟 (Uスペース)	192
体育館	1579.65
スポーツ管理棟	343.17
ウォーターポロアリーナ	2590.89
第 2 学生寮	4948.9
第 3 学生寮	10412.93
第 4 学生寮	3718.51
第 5 学生寮	3675.56

秀明大学学則

第 1 章 総 則

第 1 節 目 的

第 1 条 本学は、教育基本法並びに学校教育法に基づくとともに、本学の建学の精神である「常に真理を追究し、友情を培い、広く社会に貢献する人間形成を目的とする」を踏まえ、学術の中心として、広く知識を授けるとともに、深く専門の学術を教授研究し、知的、道徳的及び応用的能力を展開させ新しい時代に即応して国際的な広い視野と深い識見を有し、強い実行力を具えた人材を育成することを目的とする。

第 2 節 組 織

第 2 条 本学に次の学部を置く。

学校教師学部
総合経営学部
グローバルマネジメント学部
観光ビジネス学部
看護学部

2 前項の学部置く学科・課程及びその学生定員は、次のとおりとする。

学 校 教 師 学 部			
中等教育教員養成課程	入学定員	150人	収容定員 600人
総 合 経 営 学 部			
企業経営学科	入学定員	80人	収容定員 320人
グ ロー バ ル マ ネ ジ メ ン ト 学 部			
グローバルマネジメント学科	入学定員	60人	収容定員 240人
観 光 ビ ジ ネ ス 学 部			
観光ビジネス学科	入学定員	50人	収容定員 200人
看 護 学 部			
看護学科	入学定員	70人	収容定員 280人

3 各学部・学科・課程の目的は別記1のとおりとする。

第 3 条 本学に附属図書館を置く。

第 4 条 本学に事務局を置く。

第 3 節 職 員 組 織

第 5 条 本学に次の職員を置く。

- (1) 行政職員
 - A. 学長、学部長
 - B. 教務部長、学生部長、就職部長、図書館長
 - C. 事務局長
- (2) 教育職員
教授、准教授、講師、助教、助手
- (3) 事務職員
- (4) 技術職員

2 前項の職員に加え、必要に応じて副学長を置くことができる。

第 4 節 商 議 会

第 6 条 削除

第 5 節 教 授 会

第 7 条 教育研究に関する事項を審議するため、教授会を置く。

- 2 教授会は全学教授会とし、学長が招集する。
- 3 教授会は、学長が次に掲げる事項について決定を行うに当たり意見を述べるものとする。
 - (1) 学生の入学、卒業及び課程の修了
 - (2) 学位の授与
 - (3) 前二号に掲げるもののほか、教育研究に関する重要な事項で、学長が教授会の意見を聴くことが必要であると認めるもの
- 4 教授会は、前項に規定するもののほか、学長及び学部長その他の組織の長（以下この項において「学長等」という。）がつかさどる教育研究に関する事項について審議し、及び学長等の求めに応じ、意見を述べることができる。
- 5 教授会は、専任の教授をもって組織する。ただし、学長が必要であると認めた場合には准教授、専任講師及び助教その他の職員を参加させることができる。

第 6 節 学 年、学 期 及 び 休 業 日

第 8 条 学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

第 9 条 学年を次の2学期に分ける

- 前学期 4月1日から9月30日まで
- 後学期 10月1日から翌年3月31日まで

2 必要がある場合、学長は、前項の期間を変更することができる。

第 10 条 休業日は次のとおりとする。

- (1) 日曜日
- (2) 国民の祝日に関する法律（昭和 23 年法律第 178 号）に定める休日
- (3) 春期休業 4 月 1 日から 4 月 9 日、3 月 3 日から 3 月 31 日まで
- (4) 夏期休業 8 月 1 日から 8 月 31 日まで
- (5) 冬期休業 12 月 26 日から 1 月 7 日まで

2 必要がある場合は、学長は、前項の休業日を臨時に変更することができる。

3 第 1 項に定めるもののほか、学長は、臨時の休業日を定めることができる。

第 2 章 学 部 通 則

第 1 節 修業年限及び在学年限

第 11 条 学部の修業年限は、4 年とする。

第 12 条 学生は、8 年を超えて在学することができない。ただし、第 18 条第 1 項の規定により入学した学生は、同 18 条第 2 項により定められた在学すべき年数の 2 倍に相当する年数を超えて在学することができない。

第 2 節 入 学

第 13 条 入学の時期は、学年の始めとする。ただし再入学及び転入学については、学期の始めとすることができる。

第 14 条 本学に入学することができる者は、次の各号の一に該当する者とする。

- (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者
- (2) 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む。）
- (3) 外国において、学校教育における 12 年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程に相当する課程を有するものとして指定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- (5) 文部科学大臣の指定した者
- (6) 高等学校卒業程度認定試験規則（平成 17 年 1 月制定）により文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者
- (7) その他本学において、相当の年齢に達し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

第 15 条 本学への入学を志願する者は、入学願書に所定の入学検定料及び別に定める書類を添えて願出しなければならない。

第 16 条 前条の入学志願者については、別に定めるところにより選考を行う。

第 17 条 前条の選考の結果に基づき合格の通知を受けた者は、所定の期日までに、誓約書、身元保証書その他所定の書類を提出するとともに、所定の入学金を納付しなければならない。

2 学長は、前項の入学手続きを完了した者に入学を許可する。

第 18 条 次の各号の一に該当する者で本学への入学を志願する者があるときは、欠員のある場合に限り、選考の上、相当年次に入学を許可することがある。

(1) 大学を卒業した者又は退学した者

(2) 短期大学、高等専門学校、旧国立工業教員養成所又は旧国立養護教諭養成所を卒業した者

2 前項の規定により、入学を許可された者の既に履修した授業科目及び単位数の取扱い並びに在学すべき年数については、教授会の議を経て、学長が決定する。

第 3 節 教育課程及び履修方法等

第 19 条 学部の授業科目の区分は、総合基礎科目、総合共通科目、専攻科目及び教職に関する専門科目とする。

第 20 条 教育課程は、各授業科目を必修科目、選択科目及び自由科目に分け、これを各年次に配当して編成するものとする。

第 21 条 卒業に必要な単位は次のとおりとする。

学校教師学部（2021年度以前入学者）

中等専修コース	131単位
初等教育コース（数学 理科 英語）	143単位
初等教育コース（国語）	145単位
初等教育コース（保健体育）	146単位
初等教育コース（社会地歴）	149単位
初等教育コース（社会公民）	157単位

学校教師学部（2022年度～2024年度入学者）

中等専修コース	133単位
初等教育コース（数学 理科 英語）	145単位
初等教育コース（国語）	147単位
初等教育コース（保健体育）	148単位
初等教育コース（社会地歴）	153単位
初等教育コース（社会公民）	161単位

学校教師学部（2025年度以降入学者）

中等専修コース	136単位
初等教育コース（数学 理科 英語）	148単位
初等教育コース（国語）	150単位
初等教育コース（保健体育）	151単位
初等教育コース（社会地歴）	156単位
初等教育コース（社会公民）	164単位

総合経営学部	124単位
グローバルマネジメント学部	124単位
観光ビジネス学部	124単位
看護学部（2021年度以前入学者）	130単位
看護学部（2022年度以降入学者）	125単位

2 授業科目及びその単位数は別表1、別表2、別表3、別表4及び別表5のとおりとする。

3 授業科目の履修方法については、学部規則の定めるところによる。

第22条 授業は、講義、演習、実験、実習若しくは実技のいずれかにより又はこれらの併用により行うものとする。

2 前項の授業は、平成13年文部科学省告示第51号の定めるところにより、60単位を限度として、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。

3 第1項の授業の一部は、平成15年文部科学省告示第43号の定めるところにより、校舎及び附属施設以外の場所で行うことができる。

4 授業科目の単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により単位数を計算する。

(1) 講義及び演習は、毎週1時間ないし2時間15週の授業をもって1単位とする。

(2) 実習及び実技等は30時間ないし45時間の授業をもって1単位とする。

5 前項の規定にかかわらず、卒業論文等の授業科目については、これらの学修の成果を評価して単位を授与することが適切と認められる場合には、これらに必要な学修等を考慮して単位数を定めることができる。

第23条 一年間の授業を行う期間は、定期試験等の期間を含め、35週にわたることを原則とする。

第24条 授業科目を履修し、その試験に合格した者には、所定の単位を与える。

第25条 授業科目の成績評価は、試験、レポート、出席状況、受講態度、その他を総合して行う。

2 成績は100点の評点で評価し、次のS、A、B、C、Dの5段階の評定をもって表示し、S、A、B、Cを合格として単位を認定する。

評点	評定	単位認定
90～100	S	合格認定
80～89	A	
70～79	B	
60～69	C	
0～59	D	不可

3 欠席が多く、成績評価に至らない場合は評価不能とし、成績表には「F」と表示する。

第26条 教育上有益と認めるときは、学生が他の大学又は短期大学で履修した授業科目について修得した単位を、60単位を限度として、別に定めるところにより、卒業の要件となる単位として認めることができる。

2 前項の規定は、第34条の規定により学生が留学する場合に準用する。

第27条 教育上有益と認めるときは、学生が行う短期大学又は高等専門学校の特攻科に

における学修、その他文部科学大臣が定める学修を、別に定めるところにより、本学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。

- 2 前項により与えることができる単位数は、前条第1項及び第2項により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

第28条 教育上有益と認めるときは、学生が本学に入学する前に大学又は短期大学（外国の大学又は短期大学を含む。）において履修した授業科目について修得した単位（大学設置基準第31条に定める科目等履修生として修得した単位を含む。）を別に定めるところにより、本学に入学した後の本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

- 2 教育上有益と認めるときは、学生が本学に入学する前に行った前条第1項に規定する学修を本学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。

- 3 前2項により修得したものとみなし、又は与えることのできる単位数は、編入学、転入学等の場合を除き、本学において修得した単位以外のものについては、26条及び27条の単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

第29条 教員の免許授与の所要資格を取得しようとする者は、教育職員免許法（昭和24年法律第147号）及び同施行規則（昭和29年文部省令第26号）に定める所要の単位を修得しなければならない。

- 2 前項の規定により、所要の単位を取得した者が取得できる教員の免許状の種類は、次のとおりとする。

区 分		教員免許伏の種類（免許教科）
学校教師学部 中等教育 教員養成課程	国語専修コース	小学校教諭一種免許状
		中学校教諭一種免許状（国語）
		高等学校教諭一種免許状（国語）
	社会専修コース	小学校教諭一種免許状
		中学校教諭一種免許状（社会）
		高等学校教諭一種免許状（地理歴史）
		高等学校教諭一種免許状（公民）
	数学専修コース	小学校教諭一種免許状
		中学校教諭一種免許状（数学）
		高等学校教諭一種免許状（数学）
	理科専修コース	小学校教諭一種免許状
		中学校教諭一種免許状（理科）
		高等学校教諭一種免許状（理科）
	保健体育専修コース	小学校教諭一種免許状
		中学校教諭一種免許状（保健体育）
		高等学校教諭一種免許状（保健体育）
	英語専修コース	小学校教諭一種免許状
		中学校教諭一種免許状（英語）
		高等学校教諭一種免許状（英語）
	初等教育コース	小学校教諭一種免許状

		中学校教諭一種免許状（注１）
		高等学校教諭一種免許状（注２）

注１：国語、社会、数学、理科、英語、保健体育のうち１教科を選択

注２：国語、地理歴史、公民、数学、理科、英語、保健体育のうち１教科を選択

３ 授業科目の履修方法については、履修の手引の定めるところによる。

第 ４ 節 休学、転学、留年及び退学

第 ３０ 条 疾病その他やむを得ない理由により２ヵ月以上修学することができない者は、学長の許可を得て休学することができる。

２ 疾病のため修学することが適当でないと認められる者については、学長は休学を命ずることができる。

第 ３１ 条 休学期間は、一年以内とする。ただし、特別の理由がある場合は、一年を限度として休学期間の延長を認めることができる。

２ 休学期間は、通算して４年を超えることができない。

３ 休学期間は、第１２条の在学期間には算入しない。

第 ３２ 条 休学期間中にその理由が消滅した場合は、学長の許可を得て復学することができる。

第 ３３ 条 他の大学への入学又は転入学を志願しようとする者は、学長の許可を受けなければならない。

２ 本学に入学した者で転部を希望する者は、学期の初めに限り、特別の選考によって、これを許可することができる。

第 ３４ 条 外国の大学で学修することを志願する者は、学長の許可を得て留学することができる。

２ 前項の許可を得て留学した期間は、第３７条に定める在学期間に含めることができる。

第 ３５ 条 退学しようとする者は、学長の許可を受けなければならない。

第 ５ 節 除 籍

第 ３６ 条 次の各号の一に該当する者は、教授会の議を経て学長が除籍する。

（１） 授業料の納付を怠り、督促してもなお納付しない者

ア． 授業料等を３か月間にわたって滞納したものは、教授会の審議を経て学長が除籍を行う。分納を許可したものについても３か月間にわたって所定の分納額を滞納した場合には同様に除籍とする。

イ． 学年の途中で除籍となった者に対しては、学則第５１条２項に基づき除籍日までの授業料等を徴収する。ただし、災害、学費負担者の死亡等によるやむを得ない事情がある場合は理事会の議を経て徴収を免除することができる。

ウ． イの請求に対して除籍者から申請がある場合は理事長の裁定により分納を認めることができる。その場合は金銭貸借契約書を交わしたうえ、公正証書を作成する。その際、公正証書作成の費用は折半とする。

- エ. イに基づく徴収請求に対して学費負担者が納入しない場合は、顧問弁護士を代理人として法的措置をとる。
- (2) 第12条に定める在学年限を超えた者
- (3) 第31条第2項に定める休学期間を超えてなお修学できない者
- (4) 長期間にわたり行方不明の者

第 6 節 卒業及び学士号

第 37 条 本学に4年(第18条第1項により入学した者については、同条第2項により定められた在学すべき年数)以上在学し、第21条及び第21条の2に定める単位数を修得した者については、教授会の議を経て、学長が卒業を認定する。

第 38 条 卒業を認定された者には、卒業証書並びに次の学位を授与する。

学校教師学部	中等教育教員養成課程	学士(教育学)
総合経営学部	企業経営学科	学士(経営学)
グローバルマネジメント学部	グローバルマネジメント学科	学士(経営学)
観光ビジネス学部	観光ビジネス学科	学士(経営学)
看護学部	看護学科	学士(看護学)

第 7 節 賞 罰

第 39 条 学生として表彰に値する行為があった者は、教授会の議を経て、学長が表彰することができる。

第 40 条 本学の規程に違反し、又は学生としての本分に反する行為をした者は、別に定める懲戒規程に基づき、学長が懲戒する。

2 懲戒は、退学、停学及び訓告とする。

3 退学は、次の各号の一に該当する者に対して行う。

- (1) 性行不良で改善の見込みがないと認められる者
- (2) 学業を怠り、成業の見込みがないと認められる者
- (3) 正当な理由がなくて出席常でない者
- (4) 本学の秩序を乱し、その他学生としての本分に著しく反した者

4 停学期間は、第12条に規定する在学年限に算入し、第37条に規定する卒業要件の期間に算入しない。

第 8 節 研究生、科目等履修生、聴講生、特別聴講学生及び外国人留学生

第 41 条 本学において、特定の専門事項について研究することを志願する者がいるときは、学部の教育研究に支障のない場合に限り、選考の上、研究生として入学を許可することがある。

2 研究生を志願することのできる者は、大学を卒業した者又はこれと同等以上の学力があると認められた者とする。

3 研究期間は、1年間とする。ただし、特別の理由がある場合は、その期間を更新することができる。

第 42 条 本学において特定の授業科目等を科目履修または聴講することを志願する者があるときは学部の教育に支障のない場合に限り、選考の上、科目等履修生または聴講生として入学を許可することがある。

2 科目等履修生、聴講生は、学期毎に許可する。

第 43 条 他の大学の学生で、本学において授業科目を履修することを志願する者があるときは、当該他大学との協議に基づき、特別聴講学生として入学を許可することがある。

第 44 条 外国人で、大学において教育を受ける目的をもって入国し、本学に入学を志願する者があるときは、選考の上、外国人留学生として入学を許可することがある。

2 前項の外国人留学生に対しては、第 21 条に掲げるもののほか、日本語科目及び日本事情に関する科目を置くことができる。

第 45 条 研究生、科目等履修生、聴講生、特別聴講学生及び外国人留学生に関する規則は、別に定める。

第 9 節 検定料、入学金及び授業料

第 46 条 入学検定料、入学金、授業料及びその他納付金（以下『授業料等』という）は、別表 6 のとおりとする。

第 47 条 授業料等は、物価スライド制とし、毎年変更するものとする。

第 48 条 授業料等は、所定の期日までに納付しなければならない。

第 49 条 学年の中途において、復学又は入学した者は、復学又は入学した月から当該学年末までの授業料等を、復学又は入学した月に納付しなければならない。

第 50 条 学年の途中で卒業する見込みの者は、卒業する見込みの月までの授業料等を納付するものとする。

第 51 条 学年の途中で退学した者の当該学期分の授業料等は徴収する。

2 学年の途中で除籍された者の除籍日までの授業料は徴収する。

第 52 条 休学を許可又は命ぜられた者については、休学した月の翌月から復学した月の前月までの授業料等を免除する。

第 53 条 経済的理由によって納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる場合又はそ

の他やむを得ない事情があると認められる場合は、授業料等の全部若しくは一部を免除し、又は徴収を猶予することがある。

第 54 条 研究生、聴講生及び特別聴講学生の入学検定料及び授業料等については別に定める。

第 55 条 納付した入学検定料、入学金、授業料等は、返還しない。

2 前項の規定にかかわらず、入学試験に合格し、学長が入学を許可した者のうち、入学年の3月末日までに入学辞退を届け出た場合は、入学金を除き、納入していた授業料等を返還することができるものとする。

第 10 節 公 開 講 座

第 56 条 社会人の教養を高め、文化の向上に資するため、本学に公開講座を開設することができる。

第 3 章 学 則 の 改 廃

第 57 条 この学則の改廃は、学長が発議し、教授会の議を経て、理事会の承認を得てこれを行う。

附 則

この学則は、昭和 63 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、平成元年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、平成 2 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、平成 3 年 4 月 1 日から施行する。

2 第 2 条第 2 項の規程にかかわらず、平成 3 年度より平成 11 年度までの期間については、各年度、政治経済学部政治経済学科の入学定員を 300 人とする。

附 則

この学則は、平成 3 年 10 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、平成 4 年 1 月 29 日から施行する。

ただし、第 12 条の 2 の規定及び第 28 条の規定する単位数は平成 4 年度入学生から適用する。

附 則

この学則は、平成 5 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、平成 6 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、平成 7 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、平成 8 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、平成 9 年 4 月 1 日から施行する。

ただし、第 28 条の規定する単位数及び別表 1 による教育課程は、平成 9 年度入学生から適用する。

附 則

この学則は、平成 10 年 4 月 1 日から施行する。

2 第 2 条第 2 項の規定にかかわらず、平成 10 年度より平成 11 年度までの期間については、

各年度、政治経済学部政治経済学科の入学定員を230人とする。

附 則

この学則は、平成12年4月1日から施行する。

2 第2条第2項の規定にかかわらず、平成12年度より平成16年度までの期間については、各年度、各年度政治経済学部政治経済学科の入学定員を230人とする。

附 則

この学則は、平成13年4月1日から施行する。

2 第2条第2項及び附則第2項（平成12年4月1日施行）の規定にかかわらず、政治経済学部政治経済学科の入学定員は、平成13年4月1日から零として、学生募集を停止し、収容定員「540人」とあるのは、平成14年度については「360人」、平成15年度については「180人」、平成16年度については零と読み替えるものとする。

3 平成13年4月1日に政治経済学部 に在学する者が、当該学部 に在学しなくなる日までの間、政治経済学部 は存在するものとする。

附 則

この学則は、平成14年4月8日から施行する。

附 則

この学則は、平成16年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成17年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成18年4月1日から施行する。

2 第2条第2項の規定に関わらず、総合経営学部生活経営学科の入学定員は、平成18年4月1日から零として、学生募集を停止し、収容定員「240人」とあるのは、平成19年度については「160人」、平成20年度については「80人」、平成21年度については「0人」と読み替えるものとする。

3 平成18年4月1日に総合経営学部生活経営学科 に在学する者が、当該学科 に在学しなくなる日までの間、総合経営学部生活経営学科 は存在するものとする。

4 第2条第2項の規定に関わらず、英語情報マネジメント学部英語情報マネジメント学科の収容定員「320人」とあるのは、平成18年度については「80人」、平成19年度については「160人」、平成20年度については「240人」と読み替えるものとする。

附 則

この学則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成20年4月1日から施行する。

2 第2条第2項の規定に関わらず、総合経営学部医療経営学科の入学定員は平成20年4月1日から零として学生募集を停止し、その収容定員は、平成20年度は「150人」、平成21年度は「100人」、平成22年度は「50人」、平成23年度は「0人」とする。

3 第2条第2項の規定ならびに前項の規定に関わらず、総合経営学部 医療経営学科は、当該学科の在学生がいなくなる日までの間、存在するものとする。

4 第2条第2項の規定に関わらず、総合経営学部企業経営学科の収容 定員「480人」とあ

るのは、平成２０年度は「４２０人」、平成２１年度は「４４０人」、平成２２年度は「４６０人」と読み替えるものとする。

５ 第２条第２項の規定に関わらず、英語情報マネジメント学部英語情報マネジメント学科の収容定員「４４０人」とあるのは、平成２０年度は「３５０人」、平成２１年度は「３８０人」、平成２２年度は「４１０人」と読み替えるものとする。

附 則

この学則は、平成２０年４月１日から施行する。

附 則

この学則は、平成２１年４月１日から施行する。

附 則

この学則は、平成２２年４月１日から施行する。

附 則

この学則は、平成２３年４月１日から施行する。

附 則

この学則は、平成２４年４月１日から施行する。

附 則

この学則は、平成２５年４月１日から施行する。

附 則

この学則は、平成２６年４月１日から施行する。

附 則

この学則は、平成２７年４月１日から施行する。

附 則

この学則は、平成２９年４月１日から施行する。

附 則

この学則は、平成３０年４月１日から施行する。

附 則

この学則は、平成３１年４月１日から施行する。

附 則

この学則は、令和２年４月１日から施行する。

附 則

この学則は、令和３年４月１日から施行する。

附 則

この学則は、令和４年４月１日から施行する。

附 則

この学則は、令和４年１２月１日から施行する。

附 則

この学則は、令和５年４月１日から施行する。

附 則

この学則は、令和６年４月１日から施行する。

附 則

この学則は、令和６年５月１日から施行する。

附 則

この学則は、令和７年４月１日から施行する。

附 則

この学則は、令和８年４月１日から施行する。

ただし、第２条第２項の規定にかかわらず、令和７年度までの収容定員は、次のとおりとする。

学校教師学部 中等教育教員養成課程

入学定員２００人 収容定員８００人

総合経営学部 企業経営学科

入学定員９０人 収容定員３６０人

グローバルマネジメント学部 グローバルマネジメント学科

入学定員７０人 収容定員２８０人

観光ビジネス学部 観光ビジネス学科

入学定員７０人収容定員２８０人

看護学部 看護学科

入学定員８０人 収容定員３２０人

各学部・学科・課程の目的

(学則第 2 条第 3 項)

1. 学校教師学部中等教育教員養成課程

優れた学習指導能力及び生活指導能力と対人関係能力を兼ね備え、生徒・父母そして社会から真に教師として信頼される人材を養成することを目的とする。

2. 総合経営学部企業経営学科

幅広い教養と豊かな人間性を基盤とし、企業経営の専門知識ならびに実務能力をはじめ、企業人として活躍できる能力を総合的に備えた人材を育成することを目的とする。

3. グローバルマネジメント学部グローバルマネジメント学科

高い英語コミュニケーション能力とコンピュータ処理活用能力を備えた企業人として、現代の国際社会、情報社会で活躍できる人材を育成することを目的とする。

4. 観光ビジネス学部観光ビジネス学科

「サービス産業の経営学」を専門とし、英語と情報を使いこなし、国際的な観光産業を支える人材を養成することを目的とする。

5. 看護学部看護学科

生命にかかわる専門職としての幅広い教養と豊かな人間性を身につけ、科学的根拠に基づいた質の高い看護実践力を養い、グローバル社会で活躍できる英語力と国際感覚を持ち、看護に必要な情報の活用と医療現場における I T スキルを獲得し、主体的な学修態度と自己研鑽ができる力を兼ね備え、地域の保健・医療・福祉を担うことのできる看護職の育成を目的とする。

別表 6

学 生 納 付 金 等

学生納付金等の額は、次のとおりとする。

【学校教師学部 2020 年度以降入学生】

区分	金額	備考
入学検定料	30,000円	学則第46条による
入 学 金	300,000円	学則第46条による
授 業 料	年額 747,000円	学則第46条による
施設設備充実費	年額 271,000円	学則第46条による
学生活動費	年額 80,000円	学則第46条による
夜間学修受講料	年額 50,000円	学則第46条による

※授業料、施設設備充実費、学生活動費は毎年度、物価上昇率に応じて改定する。

※教職課程履修者は、上記とは別に課程履修費として次の金額を納入することとする。

学校教師学部：3年次前期…20,000円、4年次前期…30,000円

【看護学部 2021 年度以降入学生】

区分	金額	備考
入学検定料	30,000円	学則第46条による
入 学 金	300,000円	学則第46条による
授 業 料	年額 800,000円	学則第46条による
実験実習費	年額 300,000円	学則第46条による
施設設備充実費	年額 350,000円	学則第46条による
学生活動費	年額 80,000円	学則第46条による

※授業料、施設設備充実費、学生活動費は毎年度、物価上昇率に応じて改定する。

※保健師課程履修者は、上記とは別に課程履修費として3年次前期に100,000円を納入することとする。

【看護学部 2018 年度入学生】

区分	金額	備考
入学検定料	30,000円	学則第46条による
入 学 金	300,000円	学則第46条による
授 業 料	年額 800,000円	学則第46条による
実験実習費	年額 300,000円	学則第46条による
施設設備充実費	年額 350,000円	学則第46条による
学生活動費	年額 60,000円	学則第46条による

※授業料、施設設備充実費、学生活動費は毎年度、物価上昇率に応じて改定する。

※保健師課程履修者は、上記とは別に課程履修費として3年次前期に100,000円を納入することとする。

【総合経営学部、グローバルマネジメント学部、観光ビジネス学部
2020年度以降入学生】

区分	金額	備考
入学検定料	30,000円	学則第46条による
入 学 金	300,000円	学則第46条による
授 業 料	年額 737,000円	学則第46条による
施設設備充実費	年額 271,000円	学則第46条による
学生活動費	年額 80,000円	学則第46条による

※授業料、施設設備充実費、学生活動費は毎年度、物価上昇率に応じて改定する。

※教職課程履修者は、上記とは別に課程履修費として次の金額を納入することとする。

1年次後期…30,000円、3年次前期…20,000円

【総合経営学部、グローバルマネジメント学部、観光ビジネス学部
2018年度、2019年度入学生】

区分	金額	備考
入学検定料	30,000円	学則第46条による
入 学 金	300,000円	学則第46条による
授 業 料	年額 717,000円	学則第46条による
施設設備充実費	年額 271,000円	学則第46条による
学生活動費	年額 60,000円	学則第46条による

※授業料、施設設備充実費、学生活動費は毎年度、物価上昇率に応じて改定する。

【総合経営学部、グローバルマネジメント学部、観光ビジネス学部 外国人留学生
2021年度以降入学生減免後の学納金】

区分	金額	備考
入学検定料	30,000円	学則第46条による
入 学 金	300,000円	学則第46条による
授 業 料	年額 567,000円	学則第46条による
施設充実費	年額 271,000円	学則第46条による
学生活動費	年額 80,000円	学則第46条による

※授業料、施設充実費、学生活動費は毎年度、物価上昇率に応じて改定する。

学則変更の事由及び変更点

1. 学則変更の事由

学校教師学部、総合経営学部、グローバルマネジメント学部、観光ビジネス学部、看護学部の収容定員を変更するため。

2. 変更点

第2条2項および附則

以上

秀明大学学則 新旧の比較対照表

新	旧
<p>第 2 条 本学に次の学部を置く。</p> <p>学校教師学部 総合経営学部 グローバルマネジメント学部 観光ビジネス学部 看護学部</p> <p>2 前項の学部置く学科・課程及びその学生定員は、次のとおりとする。</p> <p>学 校 教 師 学 部 中等教育教員養成課程 入学定員 150人 収容定員 600人</p> <p>総 合 経 営 学 部 企業経営学科 入学定員 80人 収容定員 320人</p> <p>グ ロー バ ル マ ネ ジ メ ン ト 学 部 グ ロー バ ル マ ネ ジ メ ン ト 学 科 入学定員 60人 収容定員 240人</p> <p>観 光 ビ ジ ネ ス 学 部 観光ビジネス学科 入学定員 50人 収容定員 200人</p> <p>看 護 学 部 看護学科 入学定員 70人 収容定員 280人</p> <p>附 則 この学則は、令和8年4月1日から施行する。 ただし、第2条第2項の規定にかかわらず、令和7年度までの収容定員は、次のとおりとする。</p> <p>学校教師学部 中等教育教員養成課程 入学定員200人 収容定員800人</p> <p>総合経営学部 企業経営学科 入学定員90人 収容定員360人</p> <p>グ ロー バ ル マ ネ ジ メ ン ト 学 部 グ ロー バ ル マ ネ ジ メ ン ト 学 科 入学定員70人 収容定員280人</p> <p>観 光 ビ ジ ネ ス 学 部 観 光 ビ ジ ネ ス 学 科 入学定員70人収容定員280人</p> <p>看護学部 看護学科 入学定員80人 収容定員320人</p>	<p>第 2 条 本学に次の学部を置く。</p> <p>学校教師学部 総合経営学部 グローバルマネジメント学部 観光ビジネス学部 看護学部</p> <p>2 前項の学部置く学科・課程及びその学生定員は、次のとおりとする。</p> <p>学 校 教 師 学 部 中等教育教員養成課程 入学定員 200人 収容定員 800人</p> <p>総 合 経 営 学 部 企業経営学科 入学定員 90人 収容定員 360人</p> <p>グ ロー バ ル マ ネ ジ メ ン ト 学 部 グ ロー バ ル マ ネ ジ メ ン ト 学 科 入学定員 70人 収容定員 280人</p> <p>観 光 ビ ジ ネ ス 学 部 観光ビジネス学科 入学定員 70人 収容定員 280人</p> <p>看 護 学 部 看護学科 入学定員 80人 収容定員 320人</p>

学則の変更の趣旨等を記載した書類

ア・学則変更（収容定員変更）の内容

秀明大学の5学部の入学定員・収容定員を以下の通りに減じる。

- ・学校教師学部の入学定員を200人から150人に、収容定員を800人から600人に減じる。
- ・総合経営学部の入学定員を90人から80人に、収容定員を360人から320人に減じる。
- ・グローバルマネジメント学部の入学定員を70人から60人に、収容定員を280人から240人に減じる。
- ・観光ビジネス学部の入学定員を70人から50人に、収容定員を280人から200人に減じる。
- ・看護学部の入学定員を80人から70人に、収容定員を320人から280人に減じる。

新	旧
学 校 教 師 学 部 中等教育教員養成課程 <u>入学定員 150人 収容定員 600人</u>	学 校 教 師 学 部 中等教育教員養成課程 <u>入学定員 200人 収容定員 800人</u>
総 合 経 営 学 部 企業経営学科 <u>入学定員 80人 収容定員 320人</u>	総 合 経 営 学 部 企業経営学科 <u>入学定員 90人 収容定員 360人</u>
グローバルマネジメント学部 グローバルマネジメント学科 <u>入学定員 60人 収容定員 240人</u>	グローバルマネジメント学部 グローバルマネジメント学科 <u>入学定員 70人 収容定員 280人</u>
観 光 ビ ジ ネ ス 学 部 観光ビジネス学科 <u>入学定員 50人 収容定員 200人</u>	観 光 ビ ジ ネ ス 学 部 観光ビジネス学科 <u>入学定員 70人 収容定員 280人</u>
看 護 学 部 看護学科 <u>入学定員 70人 収容定員 280人</u>	看 護 学 部 看護学科 <u>入学定員 80人 収容定員 320人</u>

イ・学則変更（収容定員変更）の必要性

① 収容定員変更の必要性

本学の直近 5 年間の入学者数は次のとおり推移しており、適正な定員に変更することで安定した大学運営に繋げることを企図する

- ・学校教師学部は令和 3 年度 196 人、令和 4 年度 147 人、令和 5 年 153 人、令和 6 年度 103 人、令和 7 年度 123 人であった。直近 5 年間で入学定員 200 人に達することがなく、令和 7 年度にわずかに回復したものの少子化や教職を志願する者の減少が影響し、志願者数は基本的には減少傾向にある。
- ・総合経営学部は令和 3 年度 145 人、令和 4 年度 93 人、令和 5 年 96 人、令和 6 年度 89 人、令和 7 年度 75 人であった。令和 3 年度から令和 5 年度まで入学定員 90 人を上回っていたが令和 6 年に初めて定員を下回り、以降 2 年連続入学定員 90 人を充足していない。
- ・グローバルマネジメント学部は令和 3 年度 85 人、令和 4 年度 55 人、令和 5 年 42 人、令和 6 年度 61 人、令和 7 年度 74 人であった。令和 4 年に新型コロナウイルスの影響で留学生の入学者が激減し、翌令和 5 年はさらに減少した。令和 6 年度から回復傾向がみられるが、日本人学生の出願者は 5 年前から減少傾向にある。
- ・観光ビジネス学部は令和 3 年度 78 人、令和 4 年度 35 人、令和 5 年 31 人、令和 6 年度 45 人、令和 7 年度 49 人であり減少傾向にある。
- ・看護学部は令和 3 年度 38 人、令和 4 年度 45 人、令和 5 年 75 人、令和 6 年度 49 人、令和 7 年度 48 人であった。平成 29 年度以降入学定員 80 人を充足していない状況である。

② 収容定員変更の必要性が生じた背景

本学ではイギリス留学やキャンパス併設の学生寮やきめ細かな担任指導などにより入学者の確保に努め、社会的・潜在的需要をはじめとし、過去の出願者数や最新の資料請求者数・接触者数の状況も増加傾向であるが、日本人の 18 歳人口は平成 21～令和 2 年頃まで約 120 万人でほぼ横ばいで推移し、令和 3 年頃から再び減少局面に突入し、令和 22 年には約 88 万人まで減少することが予測されている。時代に即した大学運営を行う上で収容定員の見直しが必要と考える。

ウ・学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容

このたびの学則変更により、教育課程、教育方法及び履修方法、教員組織、施設・設備に係る変更はない。

以上

学生の確保の見通し等を記載した書類

(1) 新設組織の概要

①新設組織の概要（名称、入学定員（編入学定員）、収容定員、所在地）

新設学部等の名称	入学定員	編入学定員	収容定員	所在地 (教育研究を行うキャンパス)
学校教師学部 中等教育教員養成課程	150	0	600	千葉県八千代市大学町一丁目1番
総合経営学部 企業経営学科	80	0	320	千葉県八千代市大学町一丁目1番
グローバルマネジメント学部 グローバルマネジメント学科	60	0	240	千葉県八千代市大学町一丁目1番
観光ビジネス学部 観光ビジネス学科	50	0	200	千葉県八千代市大学町一丁目1番
看護学部 看護学科	70	0	280	千葉県八千代市大学町一丁目1番

②新設組織の特色

学校教師学部 中等教育教員養成課程

養成する人材像を「優れた学習指導能力及び生活指導能力と対人関係能力を兼ね備え、生徒・父母そして社会 から真に教師として信頼される人材を養成することを目的とする。」と掲げ、「1年次からの学校現場研修（学校インターンシップ）」、「望ましい人間形成のための学生寮生活」、「夜間学修での教員採用試験対策」、「生きた英語力の育成と海外教育視察研修」等を特色としている。

総合経営学部 企業経営学科

養成する人材像を「幅広い教養と豊かな人間性を基盤とし、企業経営の専門知識ならびに実務能力をはじめ、企業人として活躍できる能力を総合的に備えた人材を育成することを目的とする。」と掲げ、「生きる力を養う教養教育」、「ビジネス社会に必要な知識と技能の修得」、「実践的な資格取得サポート」、「担任制とゼミによるきめ細かで濃密な指導」等を特色としている。

グローバルマネジメント学部 グローバルマネジメント学科

養成する人材像を「高い英語コミュニケーション能力とコンピュータ処理活用能力を備えた企業人として、現代の国際社会、情報社会で活躍できる人材を育成することを目的とする。」と掲げ、「少人数制による授業」、「イギリス留学を通じた生きた英語の習得」、「担任制によるきめ細かな指導」等を特色としている。

観光ビジネス学部 観光ビジネス学科

養成する人材像を「『サービス産業の経営学』を専門とし、英語と情報を使いこなし、国際的な観光産業を支える人材を養成することを目的とする。」と掲げ、「イギリス留学を通じた生きた英語の習得」、「独自のインターンシップ」、「資格取得サポート」、「実務家教員による現場経験を活かしたゼミ」等を特色としている。

看護学部 看護学科

養成する人材像を「生命にかかわる専門職としての幅広い教養と豊かな人間性を身につけ、科学的根拠に基づいた質の高い看護実践能力、グローバル社会で活躍できる英語力と国際感覚、医療現場におけるITスキルと看護に必要な情報の活用能力、主体的な学修態度と自己研鑽の力を修得し、看護職として将来にわたって地域社会の保健・医療・福祉に貢献できる看護師、保健師の育成を目的とする。」と掲げ、「地域と連携した実習支援体制」、「教養教育による幅広い知識の習得」、「グローバル化が進む医療現場に対応するためのイギリス留学」等を特色としている。

（２）人材需要の社会的な動向等

①新設組織で養成する人材の全国的、地域的、社会的動向の分析

学校教師学部

少子化に伴う学校の統廃合等や、教員採用試験の志願倍率低下が生じている中、教員の質の確保が困難になることが懸念されている。

本学部は全寮制による人間教育と１年次からの学校現場研修などの特色ある教育システムにより、全国から必ず教師になるという強い意志を持った学生が集まっており、多くの卒業生がすでに地元の小、中、高等学校等で活躍している。また、このような教育システムで学んだ卒業生は、就職先の教員からも高い評価を得ており、教員養成系の学部としては後発ではあるが、教員就職率の高さなども相俟って、教師をめざす高校生や保護者、高校の教師に質の高い卒業生を輩出していることで知られるようになっている。

社会の変化が激しくなり、今後は教員としての資質がこれまで以上に問われる時代になる中、上述の教員の質の確保の観点から、本学の特色ある教育システムで学んだ学生への需要は益々増えていくことは十分予想できるところである。

総合経営学部、グローバルマネジメント学部、観光ビジネス学部

これらの学部はその学問的手法やアプローチの仕方は異なるが、いずれも経営学の学位が取得できる学部であり、大学における教養教育、専門教育を通して、将来企業の中堅幹部候補として期待される卒業生を送り出すことが求められているところである。

少子化が加速度的に進み、大学進学者が減少している状況は将来の労働力不足に直結しているが、AIや外国人労働者では補えない産業分野や職種はまだ多い。このような時代にいわゆる文系学部を擁する大学の役割として、卒業生一人ひとりの能力を高めて社会に提供すること、地域に質の高い労働力を提供することがあげられる。

本学は面倒見の良い大学、入学後に学生が伸びる大学として評価されており、４年間で学生が自信をもって社会に出ていける教育を実践している。これらビジネス系の学部の卒業生は、上記のような社会状況の中で求められる人材として今後も多くの需要が見込まれると考えられる。

看護学部

千葉県には本学の他に多くの看護大学が存在するが、同時に人口当たりの看護師数では全国最下位レベルに属するほど看護師不足が常態化している県でもある。したがって、高齢化が急速に進行している現代において、看護学部学生に対する社会的需要は高まりこそすれ低くなるという状況にないことは明白である。

さらに、本学部は設置後まだ日は浅いが、厳しい入学者選抜と大学病院での実習、担任制によるきめ細やかな指導などにより、看護師に必須の他者への思いやりと高い職業意識を持つ学生が多く、教育研究機関でもある国立医学部をはじめとする大学病院を就職先として志す学生が多いことから、医療に携わる高い志を持った学生が輩出できていることが窺える。質の高い看護師・保健師の輩出という点において本学卒業生に対する需要は、今後ますます高くなる十分な基盤があると思われる。

②中長期的な18歳人口等入学対象人口の全国的、地域的動向の分析

18歳人口については、今後10年で約11%減少、千葉県の減少率はそれをやや下回るが10%の減少が予想され募集環境は厳しくなる。一方で、千葉県周辺地域の大学進学率については、今後10年間は微増で推移するため適正な定員に変更することで安定した大学運営に繋げることが可能だと考える。

③新設組織の主な学生募集地域

学校教師学部は東日本を中心とした全国からの募集、看護学部は地元を中心としているが、看護師不足は全国的な状況であり安価な学生寮や奨学金のメリット等を訴求し、千葉県以外からの募集も期待できるところはこれまでの入学者実績からも明らかである。

総合経営学部、グローバルマネジメント学部、観光ビジネス学部については、競合大学が多い千葉県を中心とした募集になるが、本学附属校が千葉県、埼玉県にあり毎年一定数の入学が見込まれること、留学生についても千葉県以外の広いエリアからの入学者実績があり、今回の定員変更が安定した募集につながると考える。

④既設組織の定員充足の状況

各学部の志願者、合格者、入学者は別紙2-1～2-5（既設学科等の入学定員の充足状況（直近5年間））のとおりである。今後の定員充足については次のとおり見通している。

学校教師学部

設置以来、令和3年度まで順調に入学者を増やしてきたが、少子化、教員の労働環境の問題やニュースで取り上げられるイメージの悪化などから、教師を目指す高校生の減少が顕著になってきたこと、その中で全寮制による教育システムの良さを十分浸透させることができなかった広報戦略にも問題があった。令和6年度では充足率がほぼ50%となった

が、令和7年度では62%に持ち直しており回復の兆しはある。そこで現在200名の入学定員を150名とすることで、安定した入学状況となるよう選抜方法や広報戦略等も見直した。

選抜方式においては、学校推薦型、総合型選抜による推薦の基準や総合型選抜の試験方法を見直し、一般選抜、共通テスト利用選抜においては本学部と競合する国公立の教育学部や周辺私立大学の状況を十分検討し、これまで本学を受験しなかった層に併願校としての位置づけを促すよう、早期からの接触、複数回の接触を意識し広報戦略を見直し、150名程度の入学者確保を目標としている。

また、本学が持つ教員養成学部の魅力をSNSやサブパンフレット等を利用し、これまでより強く訴求、合格者の入学辞退率を低下させる施策も実施している。

総合経営学部

本学部は令和5年度までは定員を充足、令和6、7年度は定員の90人を充たすことができなかったが、5年平均では1.11という充足率である。

比較的順調に推移している要因としては、内部進学生を含む学校推薦型と、外国人留学生の安定し志願者数によるところが大きい。

今回入学定員を90人から80人とし、確実にこれを超えるよう、①附属校との密接な連携（特設のキャンパス見学会や出前授業の低学年からの実施等）により、学校推薦型で定員の60%を確保することを目標としている。

さらに外国人留学生についても、パンフレットやホームページの多言語化により、より多くの留学生に本学を認知してもらえるよう新たな施策を講じている。

グローバルマネジメント学部

入学定員は70人で、過去5年の充足率の平均は91%であるが、令和5年度入試では充足率60%と大幅に定員を下回っており、より安定した募集状況とするため、今回入学定員を60人と設定した。

本学部は、今年度英語情報マネジメント学部からグローバルマネジメント学部へと名称を変更した。主に英語のコミュニケーション能力をつける英語キャリアコースとITスキルを身につけるITキャリアコースがあるが、AIブームの影響もあり、令和7年度入試ではITキャリアコースを希望する受験生が大幅に増加した。

この学部も本学附属校からの進学希望者が多い学部であるが、同様の学部学科をもつ周辺の競合大学に進学する生徒も多く、十分な内部進学者が確保できていない状況である。今後は学部の魅力をよりわかりやすく附属校の高校生に伝え、学部教員と高校生が接する機会を増やし、また外部の高校生に向けては総合型選抜の受験方法を、高校で学んできた内容をより活かせるよう改善を加えていく予定である。

留学生の志願者が多い状況であるが、この点も日本人、留学生のバランスの取れた構成となるよう、より日本人の募集を強化する予定である。

観光ビジネス学部

学部の性格上、新型コロナウイルスによる影響を最も受けた学部であり、コロナ禍終息後もその影響が定員充足率にも大きく残り、過去5年間の平均の充足率は68%に留まっている。特に日本人入学者の大幅な改善が難しく、今回入学定員を50人とし、新たな広報戦略も検討しつつ定員充足を確実なものとしたいと考えている。

本学部の特色として、イギリスへの留学が必須なものとしてカリキュラムに組み込まれている点がある。しかし、近年の経済環境の中で、留学したいという希望はあってもその留学費用を負担と考える高校生、保護者も少なくない。そこで、総合型選抜や学校推薦型選抜では、実用英語技能検定（英検）などの資格による「留学奨学金」拡充し、留学に関心がある層を積極的に取り込んでいく予定である。

現在も学部教員が出前授業など頻繁に周辺高等学校に出向いているが、その後のフォローアップが十分ではなく、活動が学生募集に結び付いていない状況がある。今後、出前授業を担当した教員と入試広報スタッフの連携をより密なものとして、出前授業終了後の教員によるフォローと、入試広報スタッフによるフォローアップを車の両輪として行う予定である。具体的にはグーグルフォーム等を利用した、授業アンケートの実施と疑問点の解消、より発展させるための教員からのアドバイスを提供、また、入試広報スタッフからは、出前授業のレポートを利用した総合型選抜出願のアドバイスをよりタイムリーに実施することである。

選抜方法ごとの人数の目標として、総合型選抜10人、学校推薦型選抜20人、外国人留学生枠20人を最低限の目標として新しい定員となる50人を確保したいと考えている。

看護学部

設置後8年を経過したが、定員の80名を充足したことは一度もなく、令和5年度入試において充足率94%の75人を確保したのが最高で、過去5年では平均64%の充足率となっている。最大の原因は県内の競合校が多いこと、またこの学部系統の差別化が難しい点である。

しかし、国公立大学はもとより、県内私大の人気校では不合格となる受験生はまだまだ多く、本学看護学部の設置経緯や特色を確実に認知してもらうことで、新定員となる70名を充足することは十分可能であると考えている。

特色の第一は担任制による面倒見の良さである。看護学部は隣地実習中に生ずる様々な問題や国家試験対策など、在学中に一人では解決が難しいことが多く発生する。そこではやはり日常的に気軽に相談できる担任教員の存在が大きい。在学中の学生の声も、そのような観点からのものが多く、オープンキャンパスでも学生のトークタイムに時間を多く割くよう配慮している。しかし、本学オープンキャンパス参加数がまだ十分な数ではなく、特色を十分に伝えきれていない現状がある。今後は本学部への資料請求者へパンフレット

やホームページでは伝えられない、ダイレクトなメッセージを定期的に伝え、より多くの参加者に結び付くよう進める方針である。

本学にある学校教師学部は全寮制であることから、地元以外の入学者の割合が高い。その影響もあり、地方の高等学校から本学の看護学部をめざす高校生も少なからずおり、毎年学生寮に入る看護学部新生は3割程度存在する。都市部では看護学部は過剰傾向だが、地方ではまだまだ国公立大以外の4年生大学の選択肢が少ない都道府県もある。そのような地域の高校生に、前述の担任制、大学病院での実習、看護英語の授業とイギリス留学、安心して生活できる学生寮を丁寧に告知することで、競争の厳しい地元千葉県以外の高校生を獲得できる機会はまだまだ十分にあると思われる。今後はそのようなエリアを意識した広報戦略も実施する予定である。

また、本学には女子水球部、女子硬式野球部、女子柔道部など、高校まで力を入れてきたスポーツを大学でも継続しつつ、卒業後は看護師というキャリアパスも選択できることを告知している。これに共感する高校生も毎年入学しており、学業との両立を実践している。

昨年度、附属高校からの本学部入学者は4人であったが、今年度内部進学の見直しにより、15名と大幅に増加した。これは単に基準を見直したことばかりでなく、県内競合校と比較しても本学看護学部の魅力が十分にあると感じた高校生が多かったためでもあると考えられる。また、看護学部では日頃から県内の学校に講演に出向いたり、附属高校の文化祭などでは看護学部の学生による特設コーナーを設けたりするなど、日常的な接点が多くあったことも大きく影響していると考えられる。

学校推薦型で45人、総合型選抜15人、一般選抜・共通テスト利用で10人を目標として募集活動を行い70人の新定員を充足する予定である。特にこれまで、一般選抜、共通テスト利用選抜では平均すると10人以下の入学者しか確保できていない点を鑑み、一般選抜を中心に考える中堅レベルの受験生を対象とした広報を集中して実施していく予定である。

(3) 学生確保の見通し

①学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果

ア、既設組織における取組とその目標

・オープンキャンパス

令和7年度入試におけるオープンキャンパスは対面14回、オンライン2回の計16回実施し、全体動員数は1036人、そのうち当該年度の受験対象者は437人であり、うち受験者数が240人、受験率が54.9%であった。そして令和6年度は対面11回、オンライン4回の計15回実施で全体動員数は744人、そのうち当該年度の受験対象者は437人であり当該年度の受験対象者は415人であり、うち受験者数が248人、受験率が59.8%であった。

本学における当該年度の受験対象参加者受験率は概ね50～60%程度で推移している。総参加者数については上昇傾向が続いており、内訳としては高校2年生の上昇率が特に高い。そのことから令和8年度においても参加者の上昇傾向は継続している。

・オープンキャンパス以外の受験生向けイベント

上記のオープンキャンパス以外にもキャンパスビジット（学生生活体験）や高大接続講座（授業体験）などの、オープンキャンパスを起点としてより本学に対する理解を促進することのできるイベントを開催しており、令和7年度はキャンパスビジットにおいては参加者28人中25人が受験、高大接続講座においては112人中82人が受験、高い受験率を維持している。

・資料請求

資料請求数を増加させるべく、各サイトにおいて認知を上げるための施策を実施した結果、請求数はのべ人数で18,119人に上っているが、そのうちイベントへの参加者数は470人に滞り、請求した受験生からイベントへの参加率が低迷していることが課題である。

イ、新設組織における取組とその目標

・オープンキャンパス

受験生が本学をより検討しやすくするために引き続きオープンキャンパスを実施する。特にオープンキャンパスの参加者数の増加のために、日程や回数の見直しを図る。また受験率の向上のためにオープンキャンパス開催後は必ず参加者に対しアンケートを実施し、満足度を確認することでより受験生のニーズに合わせた内容へと改善を行う。そして後述の取組と併せてオープンキャンパスを実施することで受験生一人一人の接触回数の増加も企図しており、早期に本学の印象付けを行うとともに

に参加者数の上昇と受験率の更なる向上を目標とする。

- ・オープンキャンパス以外の受験生向けイベント

これまでも参加者の受験率は高い割合を維持しているため、オープンキャンパスの参加者からの当該イベントへの参加者数の増加を目標とする。そのため時期や回数の見直しを行い、参加者に発行される修了証を主体性評価の一環としての自己アピールとして使用する例などをより広く紹介していく。

また本学学校教師学部においては全寮制教育を 1 つの特徴としており、当該学部においては全学生が寮に居住するため「寮生活」を広く紹介することが必須である。そのため今年度から寮宿泊体験を実施しており、既に参加者の受験率は高い。次年度においては実施回数を増やしオープンキャンパスにおいても強く広報することで参加者数の増加を図る。

- ・資料請求

資料請求者数について今年度も上昇傾向にあるが、先述のとおりその請求者のうち各種イベントへの参加率は低迷しているため、より参加を促すことのできる資料を作成送付するとともに、請求者に対して本学からより能動的にダイレクトメッセージ等を用いて早期からの接触を図る。

- ・高校訪問

本学入学者の出身校を中心に高校訪問を年に一度などの単発ではなく、継続的に訪問を行うことで関係強化を図る。

ウ、当該取組の実績の分析結果に基づく、新設組織での入学者の見込み数

- ・学校教師学部

これまでの入学定員は 200 人であったが過去 4 年において、入学者はおよそ 130 人となっている。資料請求者数は既に 20%程度の増加傾向であることから前述の取組を行うことで各種イベントへの参加者数においても 20%以上増加すると考えられ、約 150 人を見込んでいる。

- ・看護学部

これまでの入学定員は 80 人であったが過去 4 年において、入学者はおよそ 55 人となっている。資料請求者数は既に 20%程度の増加傾向であることから前述の取組を行うことで各種イベントへの参加者数においても 20%以上増加すると考えられ、約 70 人を見込んでいる。

- ・総合経営学部、グローバルマネジメント学部、観光ビジネス学部

これまでの入学定員は総合経営学部 90 人、グローバルマネジメント学部 70 人、観光ビジネス学部 70 人であったが過去 4 年において、入学者はおおよそ総合経営学部 85 人、グローバルマネジメント学部 60 人、観光ビジネス学部 40 人となっている。資料請求者数は既に 20%程度の増加傾向であることから前述の取組を行うことで各種イベントへの参加者数においても 20%以上増加すると考えられ、総合経営学部約 80 人、グローバルマネジメント学部約 60 人、観光ビジネス学部約 50 人を見込んでいる。

②競合校の状況分析（立地条件、養成人材、教育内容と方法の類似性と定員充足状況）

ア、競合校の選定理由

・学校教師学部

競合校：文教大学

選定理由：当該大学の教育学部は本学学校教師学部と同様に教員養成を目的としており、過去に本学の入学辞退者の進路としても当該大学を挙げる者が多いため選定した。

・看護学部

競合校：順天堂大学

選定理由：当該大学の医療看護学部は本学看護学部と同様に看護師養成を目的としており、かつ千葉県浦安市に拠点を置いていることから立地の面でも条件は近く、過去に本学の入学辞退者の進路としても当該大学を挙げる者が多いため選定した。

・総合経営学部、グローバルマネジメント学部、観光ビジネス学部

競合校：千葉商科大学

選定理由：当該大学の商経学部は学士（商学）、学士（経営学）を授与しており、本学の総合経営学部、グローバルマネジメント学部、観光ビジネス学部も同様に学士（経営学）を授与しており、学問分野の分類はほぼ同一と言っても過言ではなく、取得を目指せる資格なども似通っていることから、必然的に受験希望者の重複が起こりやすく、実際にオープンキャンパスでの個別相談において当該学部を第一希望とし、本学を滑り止めとして考えている受験生も過去に数多くいたことから競合校に選定した。

イ、競合校の入学志願動向

・文教大学教育学部（入学定員 350 人）

	志願者数(人)	合格者数(人)	入学者数(人)	充足率(%)
2025 年度	6,254	1,319	415	118.6
2024 年度	6,739	1,403	406	116.0
2023 年度	5,654	1,340	434	124.0

・順天堂大学医療看護学部（入学定員 220 人）

	志願者数(人)	合格者数(人)	入学者数(人)	充足率(%)
2025 年度	2,135	458	222	100.9
2024 年度	2,069	479	221	100.4
2023 年度	2,146	482	221	100.4

・千葉商科大学商経学部（入学定員 650 人なお 2024・2023 年度は 810 人）

	志願者数(人)	合格者数(人)	入学者数(人)	充足率(%)
2025 年度	3,025	1,153	828	127.4
2024 年度	3,755	1,561	893	110.2
2023 年度	4,031	1,519	898	110.9

エ、学生納付金などの金額設定の理由

初年度納入金は、それぞれ文教大学教育学部 1,397,000 円、順天堂大学医療看護 2,042,000 円、千葉商科大学商経学部 1,284,860 円となっており、本学は学校教師学部 1,468,210 円、看護学部 1,850,000 円、総合経営学部・グローバルマネジメント学部・観光ビジネス学部 1,408,000 円としている。競合校と比較しても大差はなく、妥当な金額設定であると言える。

③先行事例分析

既設組織を廃止するのではないため該当なし

(4) 新設組織の定員設定の理由

全国的な少子化の影響はあるが、本学にて設置している学部は競合校の状況を見てもわかるとおり高校生に対しての潜在的な需要は十分見込むことができ、専門職である教員・看護師について、教員においては教員不足が叫ばれて久しく、看護師においては高齢化社会への対応が急務になっているため、それらの養成は本学における一番の社会貢献と言っても過言ではない。

上述の社会的・潜在的需要をはじめとし、過去の出願者数や最新の資料請求者数・接触者数の状況も増加傾向であることに鑑み、今回の定員変更に至った。

新設組織が置かれる都道府県への入学状況

別紙 1

○出身高校の所在地県別の入学者数の構成比（上位 5 都道府県）※直近年度

	都道府県名	人 数	構成比
1	千葉	114人	30.9%
2	茨城	26人	7.0%
3	新潟	17人	4.6%
4	福島	13人	3.5%
5	東京	11人	3.0%
	全 体	369人	100.0%

※「学校基本調査」の「出身高校の所在地県別入学者数」から作成すること。

※大学、学部、学部の学科、短期大学、短期大学の学科を設置する場合や収容定員の増加に係る学則変更認可申請の場合に作成（専門職大学、専門職短期大学、高等専門学校を含む）。大学院は作成不要。

○新設組織が置かれる都道府県の定員充足状況

	新組織所在地 (都道府県)	充足率		
		令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
1	千葉県	95.48%	94.52%	96.71%
2				

※2校地で教育課程を実施する場合はそれぞれの状況を記載すること。

○新設組織の学問分野（系統区分）の定員充足状況

	系統区分	充足率		
		令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
1	教育学	91.57%	91.64%	95.25%
2	保健系	96.79%	91.04%	94.40%
3	社会科学系	102.70%	102.49%	102.56%
4				
5				

※「系統区分」は日本私立学校振興・共済事業団の「今日の私学財政」の系統区分に従うこと。

１．各選抜方法の状況

		R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	R7年度入学者	平 均
総合型選抜	募集人数	20人	20人	20人	20人	40人	24人
	延べ人数	86人	54人	47人	43人	49人	56人
	志願者数	86人	53人	47人	42人	48人	55人
	受験者数	31人	26人	34人	36人	36人	33人
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数	3人	2人	4人	6人	12人	5人
	辞退者数	86人	54人	47人	43人	49人	56人
	志願者数	86人	53人	47人	42人	48人	55人
	受験者数	31人	26人	34人	36人	36人	33人
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数	3人	2人	4人	6人	12人	5人
	辞退者数	28人	24人	30人	30人	24人	27人
学校推薦型選抜	募集人数	30人	30人	30人	30人	60人	36人
	延べ人数	36人	37人	48人	36人	45人	40人
	志願者数	36人	37人	48人	36人	45人	40人
	受験者数	36人	34人	47人	33人	43人	38.6
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
	うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
	辞退者数	36人	37人	48人	36人	45人	40.4
	志願者数	36人	37人	48人	36人	45人	40.4
	受験者数	36人	34人	47人	33人	43人	38.6
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
	うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
	辞退者数	36人	34人	47人	33人	43人	38.6
一般選抜	募集人数	105人	105人	105人	105人	70人	98
	延べ人数	370人	277人	218人	188人	139人	238.4
	志願者数	338人	237人	197人	164人	120人	211.2
	受験者数	203人	193人	164人	127人	108人	159
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
	うち追加合格者数	104人	121人	95人	95人	68人	96.6
	辞退者数	370人	277人	218人	188人	139人	238.4
	志願者数	338人	237人	197人	164人	120人	211.2
	受験者数	203人	193人	164人	127人	108人	159
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
	うち追加合格者数	104人	121人	70人	95人	68人	91.6
	辞退者数	99人	72人	69人	32人	40人	62.4
共通テスト利用入試	募集人数	45人	45人	45人	45人	30人	42
	延べ人数	257人	199人	160人	139人	134人	177.8
	志願者数	232人	168人	139人	131人	124人	158.8
	受験者数	153人	93人	94人	99人	111人	110
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
	うち追加合格者数	120人	76人	87人	91人	95人	93.8
	辞退者数	257人	199人	160人	139人	134人	177.8
	志願者数	232人	168人	139人	131人	124人	158.8
	受験者数	153人	93人	94人	99人	111人	110
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
	うち追加合格者数	120人	76人	87人	91人	95人	93.8
	辞退者数	33人	17人	7人	8人	16人	16.2
その他の特別選抜	募集人数	0人	0人	0人	0人	0人	0
	延べ人数	0人	0人	0人	0人	0人	0
	志願者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
	受験者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
	うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
	辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
	志願者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
	受験者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
	うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
	辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
合計	募集人数	200人	200人	200人	200人	200人	200人
	延べ人数	749人	567人	473人	406人	367人	512人
	志願者数	692人	495人	431人	373人	337人	466人
	受験者数	423人	346人	339人	295人	298人	340人
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数	227人	199人	186人	192人	175人	196人
	辞退者数	749人	567人	473人	406人	367人	512人
	志願者数	692人	495人	431人	373人	337人	466人
	受験者数	423人	346人	339人	295人	298人	340人
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数	227人	199人	161人	192人	175人	191人
	辞退者数	196人	147人	153人	103人	123人	144人

３．入学定員充足率

	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	R7年度入学者	平 均
入 学 定 員	200人	200人	200人	200人	200人	200
入 学 定 員 充 足 率	0.98	0.74	0.77	0.52	0.62	0.72
歩 留 率	0.46	0.42	0.45	0.35	0.41	0.42

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近5年間）
大学学部学科等名：総合経営学部 企業経営学科

別紙2－2

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

1. 各選抜方法の状況

		R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	R7年度入学者	平 均
総合型選抜	募集人数	20人	20人	20人	20人	20人	20人
	延べ人数	20人	20人	11人	11人	11人	15人
	志願者数	20人	19人	11人	11人	11人	14人
	受験者数	18人	10人	11人	6人	11人	11人
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数	3人	2人	1人	2人	2人	2人
	辞退者数	20人	20人	11人	11人	11人	15人
	志願者数	20人	19人	11人	11人	11人	14人
	受験者数	18人	10人	11人	6人	11人	11人
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数	3人	2人	1人	2人	2人	2人
	辞退者数	15人	8人	10人	4人	9人	9人
学校推薦型選抜	募集人数	35人	35人	35人	35人	35人	35人
	延べ人数	88人	61人	57人	48人	27人	56人
	志願者数	88人	60人	57人	48人	27人	56人
	受験者数	88人	60人	57人	48人	27人	56人
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数	0人	1人	0人	0人	0人	0.2
	辞退者数	88人	61人	57人	48人	27人	56.2
	志願者数	88人	60人	57人	48人	27人	56
	受験者数	88人	60人	57人	48人	27人	56
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
	うち追加合格者数	0人	1人	0人	0人	0人	0.2
	辞退者数	88人	59人	57人	38人	27人	53.8
一般選抜	募集人数	10人	10人	10人	10人	10人	10
	延べ人数	43人	32人	21人	12人	3人	22.2
	志願者数	33人	25人	11人	7人	3人	15.8
	受験者数	4人	21人	11人	3人	3人	8.4
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
	うち追加合格者数	3人	16人	8人	0人	3人	6
	辞退者数	43人	32人	21人	12人	3人	22.2
	志願者数	33人	25人	11人	7人	3人	15.8
	受験者数	4人	21人	11人	3人	3人	8.4
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
	うち追加合格者数	3人	16人	8人	0人	3人	6
	辞退者数	1人	5人	3人	3人	0人	2.4
共通テスト利用入試	募集人数	5人	5人	5人	5人	5人	5
	延べ人数	11人	10人	2人	2人	3人	5.6
	志願者数	8人	8人	1人	2人	3人	4.4
	受験者数	0人	1人	0人	1人	3人	1
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
	うち追加合格者数	0人	1人	0人	1人	1人	0.6
	辞退者数	11人	10人	2人	2人	3人	5.6
	志願者数	8人	8人	1人	2人	3人	4.4
	受験者数	0人	1人	0人	1人	3人	1
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
	うち追加合格者数	0人	1人	0人	1人	1人	0.6
	辞退者数	0人	0人	0人	0人	2人	0.4
その他の特別選抜	募集人数	20人	20人	20人	20人	20人	20
	延べ人数	94人	38人	30人	52人	53人	53.4
	志願者数	92人	37人	28人	52人	50人	51.8
	受験者数	43人	22人	26人	48人	44人	36.6
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
	うち追加合格者数	2人	1人	0人	4人	7人	2.8
	辞退者数	94人	38人	30人	52人	53人	53.4
	志願者数	92人	37人	28人	52人	50人	51.8
	受験者数	43人	22人	26人	48人	44人	36.6
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
	うち追加合格者数	2人	1人	0人	4人	7人	2.8
	辞退者数	41人	21人	26人	44人	37人	33.8
合計	募集人数	90人	90人	90人	90人	90人	90人
	延べ人数	256人	161人	121人	125人	97人	152人
	志願者数	241人	149人	108人	120人	94人	142人
	受験者数	153人	114人	105人	106人	88人	113人
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数	8人	21人	9人	7人	13人	12人
	辞退者数	256人	161人	121人	125人	97人	152人
	志願者数	241人	149人	108人	120人	94人	142人
	受験者数	153人	114人	105人	106人	88人	113人
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数	8人	21人	9人	7人	13人	12人
	辞退者数	145人	93人	96人	89人	75人	100人

3. 入学定員充足率

	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	R7年度入学者	平 均
入 学 定 員	90人	90人	90人	90人	90人	90
入 学 定 員 充 足 率	1.61	1.03	1.07	0.99	0.83	1.11
歩 留 率	0.95	0.82	0.91	0.84	0.85	0.87

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

大学学部学科等名：グローバルマネジメント学部 グローバルマネジメント学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

		R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	R7年度入学者	平 均
総合型選抜	募集人数	15人	15人	15人	15人	15人	15人
	延べ人数	9人	3人	4人	5人	10人	6人
	志願者数	9人	3人	4人	4人	10人	6人
	受験者数	8人	3人	4人	4人	10人	6人
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数	1人	0人	1人	0人	3人	1人
	辞退者数	9人	3人	4人	5人	10人	6人
	志願者数	9人	3人	4人	4人	10人	6人
	受験者数	8人	3人	4人	4人	10人	6人
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数	1人	0人	1人	0人	3人	1人
	辞退者数	7人	3人	3人	4人	7人	5人
学校推薦型選抜	募集人数	20人	20人	20人	20人	20人	20人
	延べ人数	49人	30人	25人	18人	18人	28人
	志願者数	49人	30人	25人	18人	18人	28人
	受験者数	49人	30人	25人	18人	18人	28人
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数	49人	30人	25人	18人	18人	28人
	志願者数	49人	30人	25人	18人	18人	28人
	受験者数	49人	30人	25人	18人	18人	28人
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数	49人	30人	25人	18人	18人	28人
一般選抜	募集人数	10人	10人	10人	10人	10人	10人
	延べ人数	18人	12人	5人	6人	3人	8.8
	志願者数	13人	9人	4人	2人	2人	6
	受験者数	6人	7人	4人	1人	2人	4
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
	うち追加合格者数	3人	3人	3人	0人	1人	2
	辞退者数	18人	12人	5人	6人	3人	8.8
	志願者数	13人	9人	4人	2人	2人	6
	受験者数	6人	7人	4人	1人	2人	4
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
	うち追加合格者数	3人	3人	3人	0人	1人	2
	辞退者数	3人	4人	1人	1人	1人	2
共通テスト利用入試	募集人数	5人	5人	5人	5人	5人	5人
	延べ人数	9人	12人	2人	3人	2人	5.6
	志願者数	8人	10人	1人	1人	2人	4.4
	受験者数	4人	8人	0人	0人	2人	2.8
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
	うち追加合格者数	3人	7人	0人	0人	2人	2.4
	辞退者数	9人	12人	2人	3人	2人	5.6
	志願者数	8人	10人	1人	1人	2人	4.4
	受験者数	4人	8人	0人	0人	2人	2.8
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
	うち追加合格者数	3人	7人	0人	0人	2人	2.4
	辞退者数	1人	1人	0人	0人	0人	0.4
その他の特別選抜	募集人数	20人	20人	20人	20人	20人	20人
	延べ人数	44人	20人	17人	41人	52人	34.8
	志願者数	44人	18人	17人	40人	50人	33.8
	受験者数	26人	18人	15人	39人	48人	29.2
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
	うち追加合格者数	1人	1人	2人	1人	0人	1
	辞退者数	44人	20人	17人	41人	52人	34.8
	志願者数	44人	18人	17人	40人	50人	33.8
	受験者数	26人	18人	15人	39人	48人	29.2
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
	うち追加合格者数	1人	1人	2人	1人	0人	1
	辞退者数	25人	17人	13人	38人	48人	28.2
合計	募集人数	70人	70人	70人	70人	70人	70人
	延べ人数	129人	77人	53人	73人	85人	83人
	志願者数	123人	70人	51人	65人	82人	78人
	受験者数	93人	66人	48人	62人	80人	70人
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数	8人	11人	6人	1人	6人	6人
	辞退者数	129人	77人	53人	73人	85人	83人
	志願者数	123人	70人	51人	65人	82人	78人
	受験者数	93人	66人	48人	62人	80人	70人
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数	8人	11人	6人	1人	6人	6人
	辞退者数	85人	55人	42人	61人	74人	63人

３．入学定員充足率

	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	R7年度入学者	平 均
入 学 定 員	70人	70人	70人	70人	70人	70
入 学 定 員 充 足 率	1.21	0.79	0.60	0.87	1.06	0.91
歩 留 率	0.91	0.83	0.88	0.98	0.93	0.91

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

大学学部学科等名：観光ビジネス学部 観光ビジネス学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

		R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	R7年度入学者	平 均
総合型選抜	募集人数	15人	15人	15人	15人	15人	15人
	延べ人数	19人	7人	8人	7人	10人	10人
		志願者数	19人	7人	8人	7人	10人
		受験者数	14人	5人	8人	7人	10人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	4人	0人	3人	3人	2人
		辞退者数	19人	7人	8人	7人	10人
	実人数	志願者数	19人	7人	8人	7人	10人
		受験者数	14人	5人	8人	7人	10人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	4人	0人	3人	3人	2人
		辞退者数	10人	5人	4人	8人	6人
	入学者数	20人	20人	20人	20人	20人	20人
学校推薦型選抜	募集人数	27人	11人	18人	17人	21人	19人
	延べ人数	27人	11人	18人	17人	21人	19人
		志願者数	27人	11人	17人	21人	18.6
		受験者数	27人	11人	17人	21人	19人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	27人	11人	18人	17人	21人
	実人数	志願者数	27人	11人	18人	17人	21人
		受験者数	27人	11人	18人	17人	21人
		合格者数	27人	11人	17人	17人	18.6
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0
	入学者数	27人	11人	17人	17人	21人	18.6
一般選抜	募集人数	10人	10人	10人	10人	10人	10
	延べ人数	13人	8人	6人	5人	1人	6.6
		志願者数	10人	7人	4人	4人	5.2
		受験者数	4人	4人	4人	3人	3.2
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0
		うち追加合格者数	3人	4人	2人	3人	2.6
		辞退者数	13人	8人	6人	5人	6.6
	実人数	志願者数	10人	7人	4人	4人	5.2
		受験者数	4人	4人	4人	3人	3.2
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0
		うち追加合格者数	3人	4人	2人	3人	2.6
		辞退者数	1人	0人	2人	0人	0.6
	入学者数	5人	5人	5人	5人	5人	5
共通テスト利用入試	募集人数	8人	4人	2人	1人	0人	3
	延べ人数	5人	3人	1人	0人	0人	1.8
		志願者数	4人	2人	0人	0人	1.2
		受験者数	0人	0人	0人	0人	0
		合格者数	4人	1人	0人	0人	1
		うち追加合格者数	8人	4人	2人	1人	3
	実人数	志願者数	5人	3人	1人	0人	1.8
		受験者数	4人	2人	0人	0人	1.2
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0
		うち追加合格者数	4人	1人	0人	0人	1
		辞退者数	0人	1人	0人	0人	0.2
	入学者数	20人	20人	20人	20人	20人	20
その他の特別選抜	募集人数	63人	18人	11人	24人	24人	28
	延べ人数	62人	18人	10人	24人	22人	27.2
		志願者数	42人	18人	9人	24人	22人
		受験者数	0人	0人	0人	0人	0
		合格者数	2人	0人	2人	2人	1.2
		うち追加合格者数	63人	18人	11人	24人	28
	実人数	志願者数	62人	18人	10人	24人	22人
		受験者数	42人	18人	9人	24人	22人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0
		うち追加合格者数	2人	0人	2人	2人	1.2
		辞退者数	40人	18人	7人	24人	21.8
	入学者数	70人	70人	70人	70人	70人	70人
合計	募集人数	130人	48人	45人	54人	56人	67人
	延べ人数	123人	46人	41人	52人	54人	63人
		志願者数	91人	40人	38人	51人	55人
		受験者数	0人	0人	0人	0人	0人
		合格者数	13人	5人	7人	6人	7人
		うち追加合格者数	130人	48人	45人	54人	67人
	実人数	志願者数	123人	46人	41人	52人	63人
		受験者数	91人	40人	38人	51人	55人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	13人	5人	7人	6人	7人
		辞退者数	78人	35人	31人	45人	49人
	入学者数	78人	35人	31人	45人	49人	48人

３．入学定員充足率

	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	R7年度入学者	平 均
入 学 定 員	70人	70人	70人	70人	70人	70
入 学 定 員 充 足 率	1.11	0.50	0.44	0.64	0.70	0.68
歩 留 率	0.86	0.88	0.82	0.88	0.91	0.87

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

１．各選抜方法の状況

		R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	R7年度入学者	平 均
総合型選抜	募集人数	15人	15人	15人	15人	20人	16人
	延べ人数	39人	16人	44人	29人	18人	29人
		志願者数					
		受験者数	38人	16人	44人	28人	29人
		合格者数	12人	7人	21人	17人	15人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	3人	6人	9人	5人
	実人数	志願者数	39人	16人	44人	29人	29人
		受験者数	38人	16人	44人	28人	29人
		合格者数	12人	7人	21人	17人	15人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	3人	6人	9人	5人
	入学者数	12人	4人	15人	8人	13人	10人
学校推薦型選抜	募集人数	35人	35人	35人	35人	40人	36人
	延べ人数	19人	26人	58人	37人	32人	34人
		志願者数					
		受験者数	19人	26人	58人	37人	34人
		合格者数	19人	26人	54人	34人	31人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	19人	26人	58人	37人	32人
		受験者数	19人	26人	58人	37人	32人
		合格者数	19人	26人	54人	34人	31人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数	19人	26人	54人	34人	31人	32.8
一般選抜	募集人数	20人	20人	20人	20人	10人	18
	延べ人数	52人	43人	55人	40人	15人	41
		志願者数					
		受験者数	44人	36人	45人	26人	33
		合格者数	21人	29人	18人	22人	14人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	14人	16人	12人	15人	10人
	実人数	志願者数	52人	43人	55人	40人	15人
		受験者数	44人	36人	45人	26人	14人
		合格者数	21人	29人	18人	22人	14人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	14人	16人	12人	15人	10人
	入学者数	7人	13人	6人	7人	4人	7.4
共通テスト利用入試	募集人数	10人	10人	10人	10人	10人	10
	延べ人数	15人	12人	8人	8人	6人	9.8
		志願者数					
		受験者数	13人	8人	7人	5人	7.6
		合格者数	5人	4人	3人	2人	1人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	5人	2人	3人	2人	1人
	実人数	志願者数	15人	12人	8人	8人	6人
		受験者数	13人	8人	7人	5人	5人
		合格者数	5人	4人	3人	2人	1人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	5人	2人	3人	2人	1人
	入学者数	0人	2人	0人	0人	0人	0.4
その他の特別選抜	募集人数	0人	0人	0人	0人	0人	0
	延べ人数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		志願者数					
		受験者数	0人	0人	0人	0人	0
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0
	実人数	志願者数	0人	0人	0人	0人	0
		受験者数	0人	0人	0人	0人	0
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0
	入学者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
合計	募集人数	80人	80人	80人	80人	80人	80人
	延べ人数	125人	97人	165人	114人	71人	114人
		志願者数					
		受験者数	114人	86人	154人	96人	69人
		合格者数	57人	66人	96人	75人	64人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	19人	21人	21人	26人	16人
	実人数	志願者数	125人	97人	165人	114人	71人
		受験者数	114人	86人	154人	96人	69人
		合格者数	57人	66人	96人	75人	64人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	19人	21人	21人	26人	16人
	入学者数	38人	45人	75人	49人	48人	51人

３．入学定員充足率

	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	R7年度入学者	平 均
入 学 定 員	80人	80人	80人	80人	80人	80
入 学 定 員 充 足 率	0.48	0.56	0.94	0.61	0.60	0.64
歩 留 率	0.67	0.68	0.78	0.65	0.75	0.71

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

既設学科等の学生募集のためのPR活動の過去の実績

別紙 3

①募集を行った学科等名称及び取組の名称：秀明大学オープンキャンパス

	R 6 年度入試	R 7 年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数 (a)	744人	1036人	①取組概要 秀明大学の受験希望者に対し、キャンパスを開放するとともに学部説明、本学の入試制度説明、模擬授業、学生企画、模擬面接を実施 令和5年度は3/27、5/21、6/19、7/9、7/31、8/14、8/21、9/10、10/2の9回実施、令和4年度は3/28、5/23、6/20、7/11、7/25、8/15、8/29、9/12、10/3の9回実施
うち受験対象者数 (b)	415人	437人	
うち受験者数 (c)	248人	240人	
うち入学者数 (d)	200人	201人	②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 本学においては当該年度の受験対象参加者のうち概ね50%程度が受験している。また実施後のアンケートを分析することにより、より受験生のニーズに合わせた内容へと改善を図っており、参加者の受験率も最新年度は上昇傾向である。総参加者数も継続して増加傾向にあることから、今回の定員変更により定員充足率の向上や超過防止が見込まれる。
(受験率 c/b)	59.8%	54.9%	
(入学率 d/b)	48.2%	46.0%	

②募集を行った学科等名称及び取組の名称：秀明大学キャンパスビジット

	R 6 年度入試	R 7 年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数 (a)	40人	28人	①取組概要 キャンパスビジットは正課の授業を体験することでその学問分野の深い理解とオープンキャンパスなどの休日イベント時とは違う、通常時の大学生活の体験を目的とし、早期から本学への志望形成を狙いとした取組
うち受験対象者数 (b)	36人	26人	
うち受験者数 (c)	34人	25人	
うち入学者数 (d)	34人	25人	②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 参加者の出願率は非常に高いものであり、今年度は前述のオープンキャンパスにおいて、より積極的に当該企画への参加を促す活動を続けており、当該企画への参加者数は増加傾向であることから、今回の定員変更により定員充足率の向上が見込まれる。
(受験率 c/b)	94.4%	96.2%	
(入学率 d/b)	94.4%	96.2%	

③募集を行った学科等名称及び取組の名称：高大接続講座

	R 6 年度入試	R 7 年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数 (a)	124人	112人	①取組概要 大学における学修に円滑に進むことを目的とした取り組み。また一部選抜においては当該講座を受講した上でのレポート提出なども評価対象としている。
うち受験対象者数 (b)	98人	85人	
うち受験者数 (c)	95人	82人	
うち入学者数 (d)	95人	82人	②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 出願率は概ね良い。今年度は前述のオープンキャンパスやキャンパスビジットにおいて、より積極的に当該企画への参加を促す活動を続けており、当該企画への参加者数は増加傾向であることから、今回の定員変更により定員充足率の向上が見込まれる。
(受験率 c/b)	96.9%	96.5%	
(入学率 d/b)	96.9%	96.5%	

教 員 名 簿

学 長 又 は 校 長 の 氏 名 等						
調書 番号	役職名	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有 学位等	月額基本給 (千円)	現 職 (就任年月)
-	学長	オオシロ ヨシノリ 大城 嘉規 〈令和6年4月〉		学士 (文学)		秀明大学 学長（令和6.4～令和8.3）

学校法人 秀明学園理事会議事録（抄本）

- 1 日 時： 令和7年3月26日（水）午前11時00分～午前11時55分
- 2 場 所： 秀明中学・高等学校新校舎 1階会議室
- 3 理事定数： 11名
- 4 出席理事： 川島幸希、大城嘉規、神原洋、近藤昌之、土肥洋一、近藤公一、町田太郎、
稲葉宗通、吉澤篤人（9名）
- 5 出席監事： 大室征男、川野聡、今枝敦（3名）
- 6 議 案： 第1号議案 （省略）
第2号議案 「秀明大学の学則変更について」
第3号議案 （省略）
第4号議案 （省略）

7 議事の経過及び結果

午前11時、理事長川島幸希氏が寄附行為第16条第7号及び寄附行為実施規則第4条第1項により議長席につき、議長として、寄附行為第16条第10号により理事総数の過半数の出席を確認し、所定の定足数に達していることから、議長は直ちに開会を宣して議案の審議に入った。

まず初めに、これから審議に入る第1号議案から第4号議案については、午前10時から開催された評議員会で同意されている旨の報告があった。

第1号議案 （省略）

第2号議案 「秀明大学の学則変更について」

議長から、近年の学生、生徒数の減少の現状や秀明大学の在籍学生数、生徒募集活動についての報告があり、現在の学則定員を510名から410名に減員したい旨の説明があった。また、秀明大学の学長である大城理事からも減員後の秀明大学の展望や生徒募集の見通し等について詳細な説明がなされ、出席理事全員が異議なく了承認可決した。

第3号議案 （省略）

第4号議案 （省略）

このほか、議事録署名人を議長及び出席理事の中から大城嘉規氏、近藤公一氏の2名にすることにも同意した。

これをもって、議長は本日の全議案が終了した旨を告げ、午前11時55分に閉会を宣した。

令和7年3月26日

寄附行為第18条第2項の規定により署名捺印する。

議事録署名人

理事長 川島 幸希 印

理 事 大城 嘉規 印

理 事 近藤 公一 印

この抄本は、原本の内容に相違ないことを証明します。

令和7年11月18日

学校法人 秀明学園

理事長 川島幸希